

こども・教育 ——— 4面
▶幼稚園・こども園 園児募集
▶子育て世帯生活支援特別給付金 申請を受け付けています
▶内藤カボチャを通じた伊那市との交流



住宅・まちづくり - 5・8面
▶耐震化への助成制度 申請期限が迫っています
イベント ——— 5面
▶野菜の料理講座などのオンラインイベント・講座にご参加を



しんじゅくコール ☎ 3209-9999
土・日曜日、夜間もご案内
受付時間:午前8時~午後10時
FAX 3209-9900

聴覚に障害がある方で「ファックス番号のない記事」へのお問い合わせは、しんじゅくコールのファックスをご利用ください。
※本紙に記載の電話番号は市外局番(03)を省略しています。

イベント等の中止・変更の有無、区施設等の開館状況等は事前にご確認ください
新型コロナウイルスの感染状況により、変更する場合があります。最新の情報は新宿区ホームページまたは各主催者・各施設にご確認ください。

子育てに困ったらまず ご相談ください



自分だけがうまく子育て
できていないのではないかな

子どもが言うことを聞いて
くれなくて、たいたり
怒鳴ったりしたくなる

子どもを育てるために、自分
ばかりが我慢していると思う



このような悩みは子育てをする中で決して特別なことではありません。些細な不安でもかまいません。子育てで少しでも困ったらご相談ください。
【問合せ】子ども家庭支援課総合相談係 ☎(3232)0675・☎(3232)0666へ。

11月は児童虐待防止月間

期間中は児童虐待防止のための広報・啓発活動等、さまざまな取り組みを集中的に実施します。

- 体罰などによらない子育てを
体罰は子どもの心身に以下のような悪影響を及ぼす原因になる恐れがあります。
 - ▶感情をうまく表せない、▶我慢ができない、▶自己肯定感が低い
- 子ども総合センター・子ども家庭支援センターでは、体罰を用いない子どもとの関わり方を保護者と一緒に考えています。



問合せ・相談先

子育ての不安や悩み・困っていることや分からないことはご連絡ください。
★子どもからの相談も受け付けています。

子ども総合センター (新宿7-3-29)	☎(3232)0675 ☎(3232)0666	▶月~土曜日...午前8時30分 ~午後7時 ▶日曜日・祝日...午前8時30分 ~午後5時(電話相談のみ)
信濃町子ども家庭支援センター (信濃町20)	☎(3357)6855 ☎(3357)6852	
榎町子ども家庭支援センター (榎町36)	☎(3269)7345 ☎(3269)7305	▶月~金曜日...午前8時30分 ~午後5時 ▶土曜日...来所相談のみ (電話相談は子ども総合センターで受け付けます) ▶日曜日・祝日...休業
中落合子ども家庭支援センター (中落合2-7-24)	☎(3952)7752 ☎(3952)7164	
北新宿子ども家庭支援センター (北新宿3-20-2)	☎(3362)4152 ☎(3365)1122	
児童相談所虐待対応ダイヤル (全国共通3桁ダイヤル)	☎189	24時間受け付け

身近にいませんか? ヤングケアラー

- 「ヤングケアラー」とは
家族にケアを要する人がいる場合に、本来大人が担うような家事や家族の世話、介護などを日常的に行っている18歳未満の子どものことで、子どもらしい生活ができなかったり、学業への影響が出る等、問題になっています。
- 地域で以下のような気になるお子さんを見かけたときは、右記相談先へご連絡ください。
- ▶家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている
 - ▶日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている
 - ▶依存症等を抱える家族を世話している

- あなたの一言が親子を救います
虐待から子どもを守るためには、地域のさまざまな人たちの協力が必要です。もし心配な子どもや保護者を見かけたら、できる範囲で「どうしましたか」と声を掛けてください。

新宿の未来のために!

新宿区ホームページ「区長の部屋」で写真日誌も公開しています

▶新型コロナウイルス第5波では爆発的な感染拡大が起こり、区内でも入院が必要な方が入院できない状況に陥りました。8月の新規感染者数は約5千人にのぼり、自宅療養者は千人を超える日が続きました。自宅療養者の方の健康観察や相談対応では、区内の訪問看護ステーション等と連携することで最悪の状況を脱することができました。関係機関の皆様には心から感謝申し上げます。入院待機者も多く発生した第5波の経験を踏まえ、区では、自宅療養者の一時的な滞在療養施設の設置を検討しています。また、区内の医療機関薬局訪問サービス事業者等と連携し、感染拡大期における早期診療や円滑な入院調整・自宅療養の支援、その後の社会復帰に向けた対応等が一貫してできる地域医療福祉体制づくりに取り組んでいます。冬の時期に予想されるコロナ第6波に備え、区内における重症化予防と入院待機ゼロを目指して行政・医療・介護事業者で「オール新宿」を合言葉に取り組んでまいります。▼区内の新型コロナウイルス接種は、10月1日現在、65歳以上では9割の方が接種済みとなっています。64歳以下では5割強の方が接種済みで、20代の方の接種率が他の年代に比べて低くなっています。区では、若い世代もワクチンが接種しやすいよう、土日や夜間の枠、予約無しでの接種受け付けなど接種機会の拡充に取り組んでいます。8月の第5波では若い年代の自宅療養者が多くなりました。自宅療養中に中等症以上に悪化する方も多く発生しました。コロナは単なる風邪とは異なり、若い方でも重症化するリスクがあります。第5波で、重症化した方の多くはワクチン未接種の方でした。ワクチンを接種した人が感染するブレイクスルー感染事例もありませんが、国立感染症研究所の分析では、ブレイクスルー感染のほとんどが無症状または軽症、中等症は5%未満であり、ワクチンの「感染予防・発症予防の効果」は、時間経過や変異株の影響で低下するものの、「重症化を防ぐ効果」は保たれているとされています。年明けからは、高齢者の3回目接種(ブースター接種)が始まります。本格的に接種可能な方は、接種体制が整っている11月中までに2回目のワクチン接種をお願いします。▼昨年は中止した若者会議を今年オンラインで開催します。テーマは「新宿の情報発信2021~若い世代に届けたい」で、現在、参加していただける方(12名)を募集しています。若い世代へのアプローチについてさまざまなアイデアをお待ちしています。

区長 古住 健一